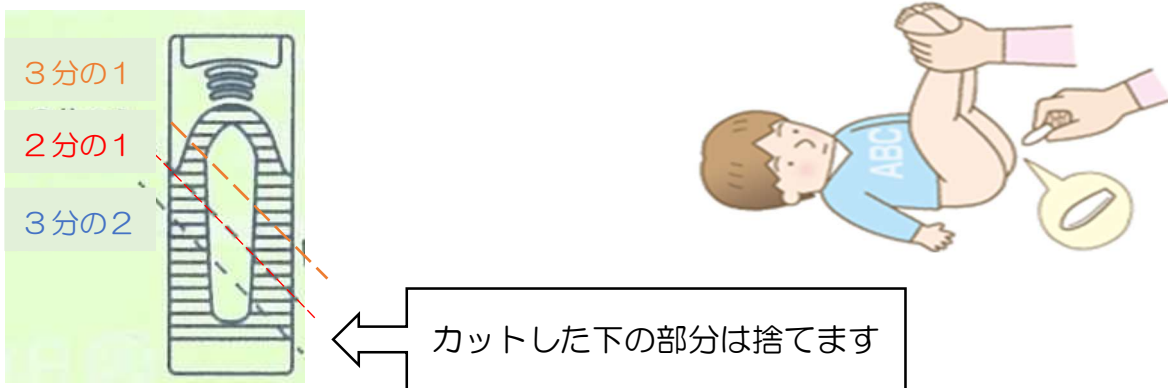


## ＜座薬の使用法＞

- 包装から取り出してから切ろうとすると、手の体温や室温で溶けるので切りにくくなります。小さなお子さんの場合は、指示の量になるように、**包装の上から**ハサミやカッターで図のように斜めに切ります。
- 肛門に入れる時、ベビーオイルやオリーブ油などを付けて挿入するとお子さんの苦痛が少なくなります。



座薬が便の中に出ってしまったら・・・

入れてすぐに出た	すぐに入れ直す。
入れて5分くらいで出た	<p>【溶けかけていて形が崩れていない場合】 →入れ直す。</p> <p>【溶けかけていて形が崩れている場合】 →薬がどれくらい吸収されているかわからないため、しばらく様子を見て、効果が全くないと感じた場合は再度入れる。</p>
ほとんど溶けていた	次回使用できる時間まで様子を見る。

### ★解熱剤について★

解熱剤は、ウイルスや細菌とのたたかいを「ひと休み」させるために用いる薬です。熱を下げて体を楽にしますが、残念ながら病気の根本を治す薬ではありません。1℃でも下がったらよいと思きましょう。

解熱剤は、熱が上がり切って、38.5℃以上の熱が下がらず、元気や食欲がなかったり、眠れない時に、使ってあげるのが良いでしょう。